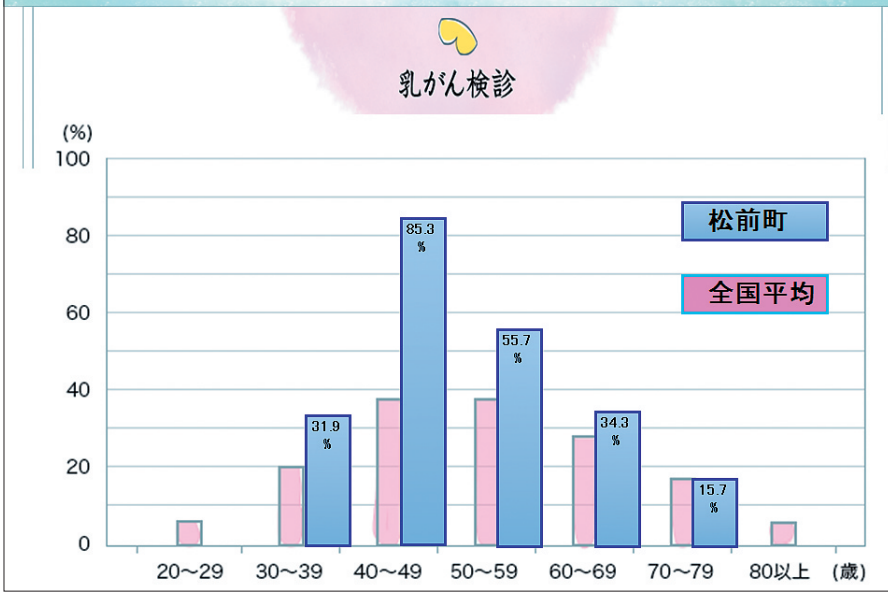


日本のがん検診データ

厚生労働省の「平成25年国民生活基礎調査」によると、
各がん検診の受診率は下のグラフのようになっています。



厚生省データ表示に松前町のデータを書き加えたものです。



影岡 俊範 議員

教育現場の工夫意見を、行政と保護者一体で支援する「教育の町」へ

時間を生み出し工夫を重ねて、一人一人の子供のために尽力する姿勢を堅持

問

- ① 児童学力向上のための教育現場の取組は、2つに分けて行う少人数指導を実施。理解できにくい、意欲を持ちにくい児童には、生徒に応じた学習を提供する特別な時間を設ける。確かな基礎学力を定着させる配慮をして、子供や保護者からも好評を得ている。
- ② 町教育委員会で児童生徒の学習達成度調査を行い、各学校の子供の理解度を把握や授業改善に活用している。
- ③ 学校の教員数は定数が決められており、施策による加配数を県教育委員会に申請し増員を図っている。
- ④ ふるさと納税は使途が制限されており、今後の参考とさせてもらいたい。

教育長

- ① 児童の学力向上は、日々の授業でなされるべきだ。きめ細かな授業のため、2人の先生で行うチーム

町長

- ④ ふるさと納税は使途が制限されており、今後の参考とさせてもらいたい。

乳がん検診の受診は、町民の健康・予防医療・子育て支援に

早期発見・診断・治療のためすべての受診を勧める

問

- ① ガン検診で、当町独自の乳がん検診について。
- ② 年齢別の受診率は。
- ③ 周知方法とコール・リコールは。
- ④ (はがき電話等による個別受診勧奨)

健康課長

- ① 国の指針では、乳がん検診の基準は40歳以上で原則X線による2年に1回の受診を実施。30代に対しては近隣市町に先駆けて平成24年度から超音波検診を実施している。
- ② 上記グラフ参照。松前町の若年世代は非常に高い受診率となっている。
- ③ 保育所・幼稚園・伊予医師会を通じ受診勧奨を行い、未受診の方にはコール・リコールを実施、受診率向上に努めている。